

一般国道163号^{ありいち} (有市)

(相楽郡笠置町有市)^{そうらく かさぎ ありいち}

一般国道163号は、大阪府大阪市から笠置町を經由して三重県津市に至る幹線道路であり、京都府南部地域の重要な東西軸を形成し、第1次緊急輸送道路としての役割も担っています。

事業区間は、一級河川木津川と併走する区間ですが、道路の高さが低いため、豪雨等の異常気象時に道路冠水による通行規制が発生するなど、車両の安心・安全な走行の支障となっています。

本事業により道路を嵩上げすることで、緊急輸送道路としての信頼性、安心・安全な通行の確保を図るものです。

令和元年度は、測量設計、用地買収を実施します。

◎事業概要

全 体 計 画	H30 までの実績	R元計画
事業期間：H24～ 事業延長：0.8km 幅 員：6.5(8.0)m 総事業費：900 百万円	事業概要：調査・測量 事 業 費：22 百万円	事業概要：設計、用地測量、 用地補償 事 業 費：70 百万円 (うち H30 補正 15 百万円)

◎事業効果

- 歩行者、通行車両等の安全性が向上します。
- 第1次緊急輸送道路としての信頼性が向上します。

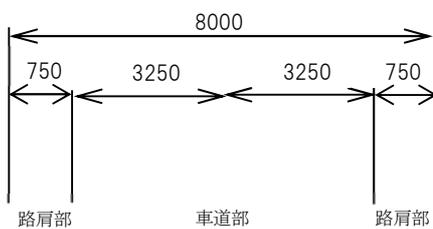
位 置 図



冠水時の状況



標準横断面図



平常時

